

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ
テクニカル・ワークショップ
「フィールドに行く理由を考える」
開催のお知らせ・募集要項

このワークショップの目的は、個々人の調査を具体的に振り返りながら、フィールドに行く重要性をあらためて問い直すことにあります。研究者がフィールドに行く理由はひとつではないでしょう。言語調査のためのフィールドワークに限定しても、調査地域や調査対象、調査目的などによって、その内実はさまざまです。

このワークショップでは、4人の若手言語研究者がそれぞれのフィールドワーク調査を紹介します。それに基づき、参加者のみなさんとともに、フィールドに行かなければできないことを整理し直しながら、フィールドに行く理由について考えます。

記

1. 開催日時：1月28日（金）13:30-16:30
 2. 開催場所：ZOOM 会議室（招待メールは開始1時間前までに参加者にお送りします）
 3. プログラム：
 - 登壇者によるミニトーク（1時間程度）
 - 参加者の交流会（ブレイクアウトセッション）（2時間程度）
 4. 登壇者：青井隼人（AA 研特任研究員／国立国語研究所）（音声学音韻論／フィールド：琉球列島）
倉部慶太（AA 研）（チベット・ビルマ諸語／フィールド：ミャンマー）
古本 真（AA 研特任研究員）（スワヒリ語方言研究／フィールド：タンザニア）
山本恭裕（東京外国語大学）（アイク語、イロカノ語／フィールド：パプア・ニューギニア、フィリピン）
 5. 参加資格：フィールド調査に基づく研究に従事する研究者・大学院生、またはフィールド調査に基づく研究に興味がある研究者・大学院生
- ※このイベントは、言語研究を目的としたフィールドワークがメインのテーマとなっています。ただし、ほかの分野を専門とするフィールドワークに従事される方もご参加いただけます。
- ※※大学院生以上を原則としますが、それ以外の方についてはメールでご相談ください。
6. 定員：20名程度 ※定員に達し次第、募集を締め切ります。

7. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。
なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。



<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/220128-flws-tech/>

8. 申込締切：1月27日（木）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）

9. 問い合わせ先：

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局
info-lingdy[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

10. その他：

- ・ワークショップは日本語でおこないます。
- ・参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「9. 問い合わせ先」までご連絡ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上